

ふ く い ん そ の

福音の園®だより



特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局
〒350-0016 埼玉県川越市木野目 1878 番地 1
Tel. 049-230-1111 Fax. 049-230-1112

ごあいさつ ー創業22周年を迎えてー

「コウノトリが赤ちゃんを運んでくる！」

で有名な水鳥から学ぶ

特定非営利活動法人
福音の園・埼玉
理事長 杉澤 卓巳



コウノトリ：体長約 110～125 cm、翼を広げると約 2m。日本に生息する水鳥の中では最大級の大きさになる特別天然記念物。かつて日本各地で見られ、湿地や水田、川辺などで生息していたが戦後の高度経済成長期に都市開発や土地改良が進み生息地が失われた。農薬や化学肥料の使用から、汚染された餌を通して繁殖力が低下し個体数が激減。一度は絶滅してしまっただが、2005 年の試験放鳥以降、日本でヒナが生まれ育った場所が全国 36 ヶ所になった（2025 年調査）。コウノトリ生息営巣地のひとつが、郷土・新潟県上越市吉川区。「今春、ヒナ4羽が誕生！」と『**上越市広報**』誌面に「見守り人」が紹介していた。営巣地として「よくぞ、我が郷土を選んでくれたものだ！」とコウノトリに聞いてみたくなった。推測すると、工場の煙突もナイ、騒音もナイ、猛禽類など外敵もイナイ等々、「ナイナイ尽くし」の過疎化進む自然環境がかえて「安心・安全」な子育てに最適だったに違いない、と納得した。

今から 6 年前、在留外国人介護職員を紹介するところから「北陸のグループホームで働いている 30 歳男性。雪のナイ、関東の施設で働きたいと

埼玉県認定：シニア活躍推進宣言企業
平成 18 年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞
平成 27 年度「介護職員確保・定着の為の優れた取組」表彰

転職を希望している…」と連絡が寄せられた。「在留外国人雇用」は経験ナイ。不安を抱きながらも「人物次第」とオンライン面接を経てから、初めての諸手続きを踏んだ上で採用した。その一年後「前の施設で働いている同国在留外国人男性が転職を希望している。雇ってもらえないか！」と相談されていた 29 歳男性を迎え入れた。やがて在留外国人で同国の婚約者を北海道から、東北県から各々迎えて生活を始めた。彼女らを「特定技能 1 号」として雇用した。オンラインで「認知症介護基礎研修」を受講修了した。

昨年、創業 21 年目にして初めて「出産育児休暇」「子育て育児休暇」に従業者へ付与した。日本人従業者に先んじて在留外国人従業者夫妻が、自らの権利を取得した。嬉しい、の一言。日本にやってきて、あちらこちらで働きながら、時には怒鳴られたり、殴られたりしながら（前述男性の証言）、安住の働き場を探していた。水鳥が安心・安全な生息営巣地を探し当てたように、彼らが「ここで子育てしよう！」と弊社事業所を選んでくれたのだった。経営者冥利に尽きる！彼らは昨年春「介護福祉士国家資格」を各々取得し、日本永住権取得への門戸をたぐり寄せた。

👉 近い将来、介護業界は「外国人に働いてもらう」から「**外国人と共に地域で暮らす**」へと意識が**変わっていく**ものと思われます。外国人職員が安心して日本で暮らし、長く福音の園で働き続けられる環境をどのように整えていくかは今後の重要なテーマであると考えます。『6/25（合同）第 108 回/第 44 回運営推進会議・開催報告書』抜書

グループホーム福音の園・川越

川越市木野目のめ 1878 番地 1

Tel. 049-230-1111



創業 22 周年記念事業
「駐車スペース」「運動スペース」
整備計画について

ホーム長 佐川 裕明



このたび当施設では、隣地の「遊休農地」を取得し、「駐車スペース」と「運動スペース」として整備することとなりました。

創業 22 周年を迎えるにあたり、利用者の皆さまがより安心して楽しく暮らせる環境を整えるとともに、地域の皆さまにも親しんでいただける場所にしていきたいと考えています。

●「駐車スペース」の整備（2026 年 10 月完了予定）

これまで当施設は駐車スペースが限られ、ご来訪の皆さまにはご不便をおかけしてまいりました。また、職員の駐車スペースも十分とはいえない状況でした。

今回の整備により、新たに 12 台分の駐車スペースを確保するとともに、災害時・緊急時にも活用できるスペースを整備しました。

日頃の利便性を高めるだけでなく、いざという時には地域の皆さまにも役立つ場所となることを願っています。



●「運動スペース」の整備（2026 年～2027 年整備予定）

もう一つの整備が「運動スペース」です。

これまで利用者の皆さまが散歩や屋外運動をする際には、近隣の「男塚公園」を利用することが多くありました。

隣地に運動スペースができることで、より気軽に、安全に屋外活動を楽しめるようになります。

「散歩コース」「歩行訓練場」などを整備し、日々の運動や機能訓練を楽しめる環境をつくります。また、ベンチやテーブルを設け、ゆっくりくつろげる「憩いのスペース」も設ける予定です。



●花菜園から広がる「癒しの園芸療法」

当施設では開設以来、「癒しの園芸療法活動」に取り組み、四季折々の植物を楽しめる「花菜園」を設けてきました。

今回の整備を機に、園芸療法についてもさらに活動の幅を広げ、花や野菜を育てる、収穫する、眺めるなど、さまざまな活動へと発展させていきたいと考えています。

さらに樹木を植え、緑豊かな環境をつくり、テーブルやベンチを設置することで、利用者の皆さまだけでなく、地域の皆さまにも気軽に立ち寄りいただける場所にしていきます。

●地域に開かれた場所へ

創業 22 周年を一つの節目として、これから地域の中にあるグループホームとして、地域の皆さまとともに歩んでいきたいと考えています。

ご近所の皆さま、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

グループホーム福音の園・川越第二

川越市萱沼かいぬま 2692 番地 1
Tel. 049-293-7528



最近の行事の様子から
～利用者の皆さまに笑顔が
生まれることを願って～
ホーム長 山本 裕隆



いつもご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。暑かった夏も過ぎ、秋の気配を感じる季節となりました。この夏も、第二事業所では、利用者の皆さまに楽しんでいただけるよう、さまざまな行事を行いました。

一人ひとりの皆さまに笑顔が生まれることを願いながら、職員も一緒になって楽しみ、工夫を重ねています。今回は、最近行った行事の様子をご紹介します。

● 7月15日 花火大会

毎年恒例の花火大会を行いました。
色とりどりの花火が夜空を彩り、最後を飾ったナイアガラ花火には、皆さまから「きれいだねー！」と歓声が上がりました。
夏の夜のひとときを、皆さまと一緒に楽しむことができました。



● 9月11日 福音祭

少し涼しくなってきた頃、職員が知恵を出し合い、総出で準備を進めて「福音祭」を開催しました。

午前中は食事会。焼きそば、お好み焼き、たこ焼き、唐揚げ、フランクフルト、イカ焼き、おにぎり、チョコバナナなど、たくさんの料理を用意しました。

午後はゲーム大会。輪投げやボウリングを楽しみ、ゲームの景品として駄菓子をゲットしました。おやつの中には、それぞれ駄菓子を召し上がり、楽しい一日となりました。



● 9月16日 流し素麺（園芸療法の日）

「園芸療法の日」に、流し素麺を行いました。当日はあいにくの雨となったため、屋外ではなく室内での開催となりましたが、皆さま大いに盛り上がりました。

流れてくる素麺を上手にすくいながら、笑顔で楽しめる姿がたくさん見られました。



これからも、季節を感じながら、利用者の皆さまに「楽しかった」と思っただけのような時間を大切にしていきたいと思います。

介護サービス専門取材メディア「カイゴ Walker」編集長の馬場有彩様がグループホーム福音の園・川越（木野目）に取材に来られ、とても素敵な記事にしてくださいました。ぜひご覧ください。
https://kaigowalker.com/article_fukuin



カイゴ Walker
—介護サービス専門取材メディア—
介護業界の魅力を再発見し、
介護の未来を明るく照らす。

求人・空室情報

- ・まずはお気軽にお問い合わせください。
- ・施設見学も随時受け付けています。

グループホーム福音の園・川越（木野目）
Tel. 049-230-1111

- ◆ **介護職員(パートさん)募集中**です。
- ◆ 入居者は現在満室です（待機者 3 名）。

グループホーム福音の園・川越第二（萱沼）
Tel. 049-293-7528

- ◆ **ケアマネ(介護支援専門員)募集中**です。
- ◆ **介護職員(パートさん)募集中**です。
- ◆ 入居者は現在満室です（待機者 1 名）。

- ・入居者はいずれも満室ですが、施設の見学・ご相談は随時受け付けています。
- ・各種ボランティアさんも歓迎いたします。

星野富弘詩画作品展 開催中！

群馬県みどり市立「富弘美術館」また「富弘美術館を囲む会」埼玉県支部のご協力により詩画家・星野富弘氏(2024 年 4 月逝去) の作品を福音の園・川越(木野目)、福音の園・川越第二「寄ってケア室」(萱沼)に展示しています。
展示作品は不定期で入れ替えをしています。



リニューアルオープンした富弘美術館

【川越市 介護支援いきいきポイント事業】

●参加してみませんか？

川越市では、高齢者の皆様に、地域に貢献する喜びを味わいながら、ますます元気に過ごして頂こうと「川越市介護支援いきいきポイント事業」を実施しています。

グループホーム福音の園・川越、川越第二は当事業の受け入れ機関です。詳しくはお問合せください。

●事業参加の流れ

- ①川越市社会福祉協議会へ登録申請する
- ②受入機関で介護支援いきいき活動を行う
- ③ポイント手帳に**スタンプ**をもらう
- ④ポイントを奨励金または市の特産品等と交換

●対象者

市内に住民登録のある 65 歳以上（川越市介護保険第一号被保険者）で、活動ができる身体状況にあり、登録研修を受講された方。

●登録について

活動を行うためには、登録が必要です。川越市社会福祉協議会が実施する研修を受講し、事業目的や活動の心得を理解した上で登録していただきます。※「ボランティア活動保険」加入が必要です。

●介護支援いきいき活動

- ・施設の催事に関する手伝い
- ・散歩、外出、屋内移動の補助
- ・話し相手、傾聴、朗読
- ・職員とともに行う清掃の補助、洗濯物の整理等

●いきいきポイント付与・交換

ポイント手帳にスタンプが押印されることで貯まります。スタンプ 1 個につき 1 ポイントとして換算、翌年度 10 ポイントにつき 1,000 円分の奨励金または市の特産品と交換できます。

